

科目名	日本語学特講	担当者	マエダ ナオコ 前田 直子	期間	通年	単位数	4
-----	--------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	日本語教育の現場において、ある文法項目を教えたり、学習者の産出を訂正したりする際、当該の文法項目について説明するだけでは十分でないということがしばしば起こる。文法は体系であり、全体を理解することが必要になる。そのため、この講義では、現代日本語の文法体系の全体像を広くつかみ、いくつかの項目については専門的な文献を読めるようになることを目指す。前期は前者を主な目的として、テキストに沿って問題を解きながら現代日本語文法について具体的に学ぶ。後期は後者を主な目的として、やや専門的な日本語文法の概説書を、前期に学んだ知識を活用しながら読み、知識を深めるとともに問題点を指摘できる批判的読解力を育成する。以上の目的を達成することにより、論理的・批判的思考力を中心に、問題発見・解決力、挑戦力、コミュニケーション力、協働力、省察力、世界の現状を理解し説明する能力の獲得を目指す。		
到達目標	【一般目標 (GIO)】 現代日本語文法に関する基本的な専門性 (知識・技能・態度) を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 ・日本語教育の基盤となる現代日本語文法の各項目について説明できる。 ・それを基に、日本語教育の実践例を分析・評価できる。 ・それをもとに、現代日本語文法研究の文献を分析・評価できる。 ・現代日本語文法研究の文献について論述できる。		
学修方略 (方法)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・manaba folio の掲示板を利用し、受講者同士の協働学習を行う。(課題図書等に関する受講者同士の質疑応答・意見交換、レポートの推敲のためのピア・レスポンス等) ・manaba folio のコレクションを利用して、インタラクティブな個別指導を受ける。 ・図書館、インターネットで自律的に論文を検索して、レポートを作成する。 【学修方略 (LS)】 (自習) 教材の熟読、教材の問題を解く自律的学習 (自主研究) 参考文献の検索と熟読 (レポート作成) レポートの作成・レポート推敲 (ディベート) 掲示板上のディスカッション、ピア・レスポンス (受講者同士で課題およびレポートにコメントをし合い、推敲する協働活動) 【学修時間】 レポート課題1つにつき、完成までに以下を目安に最低 45 時間の学修時間を要するものとする。 1) 教材の学修 20 時間 2) レポート執筆 10 時間 3) レポート推敲と最終レポートの完成 (教員の添削指導、ピア・レスポンスを含む) 15 時間		
スケジュール	<前期> ・レポート課題1 締切 6 月末 (初稿) 前期締切日 (最終稿) ・レポート課題2 締切 8 月末 (初稿) 前期締切日 (最終稿) <後期> ・レポート課題1 締切 10 月末 (初稿) 後期締切日 (最終稿) ・レポート課題2 締切 12 月末 (初稿) 後期締切日 (最終稿)		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	論旨明確さ、独創性、構成、文章表現の妥当性、引用の適切性等 *前期レポート課題 1、2 と後期レポート課題 1 は最終稿で評価する。 *後期レポート課題 2 は最終試験として初稿で評価する。提出後の指導・ピア・レスポンスは通常通り行う。
	観察記録	20%	ピア・レスポンスへの参加度、レポート添削への対応等
履修者への要望	・レポートは、初稿から最終稿にいたるまで、教師のフィードバックによる書き直し、ピア・レスポンスによる推敲、最終稿の完成と段階的に進める。 ・早い段階で第1回目のピア・レスポンスを行い、協働学習活動を積極的に行ってほしい。 ・レポートでは、引用のルールや参考文献の明示、制限文字数がある場合は文字数 (参考文献、注を除いたもの) を遵守すること。無断引用等、研究倫理上の重大な問題があった場合は、評価の対象外となる。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 原沢伊都夫 教材名： 『考えて、解いて、学ぶ 日本語教育の文法』スリーエーネットワーク、2010、ISBN-13：978-4883195428
	現代日本語文法について、独習できる教材。多くの練習問題があり、かつ問題には詳細な解説がついている。まずはこのテキストにより、現代日本語文法の基本を学び、後期に取り組む課題の基盤となる知識・分析能力を培うことを目標とする。
参考図書	原沢伊都夫『日本人のための日本語文法入門』講談社現代新書、2012 庵功雄『新しい日本語学入門（第2版）』スリーエーネットワーク、2012 日本語記述文法研究会（編）『現代日本語文法 1～7』くろしお出版、2003-2010
履修上のポイント	教材は現代日本語文法の基礎的内容なので、いずれの章も十分理解してほしい。練習問題を解き、その解説をよく読むことで、さらに確実に知識が身に付くので、正解であったかどうかということだけでなく、各章の内容をよく検討すること。 余裕があれば、参考図書にあげた文献と比較して読むと、さらに理解が深まるので、特に関心がある章については、参考図書の解説を読んでみることを勧める。 ピア・レスポンスの活動を通して、他者の視点をも理解しながら現代日本語文法に関する理解を確かなものとしてほしい。
レポート課題 1	・テキスト第1章～第4章について、学んだこと、テキストの問題を解いた記録を「ポートフォリオ」として提出する。独創的なポートフォリオを期待する。 留意点： ポートフォリオについては、学期開始後、manaba 上にて説明する。
レポート課題 2	・テキスト第5章～第8章について、学んだこと、テキストの問題を解いた記録を「ポートフォリオ」として提出する。独創的なポートフォリオを期待する。 留意点： ポートフォリオについては、学期開始後、manaba 上にて説明する。留意点：

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 井島正博編著 教材名： 『現代語文法概説』朝倉書店、2020、ISBN-13：978-4254516180
	2020年11月発行の新しい現代日本語文法の概説書。概説書ではあるが、全13章は、各分野の専門的な内容の概説になっている。このテキストを使用することにより、文法各分野の最新の知識を学ぶとともに、やや専門的な文献を読むトレーニングの機会ともしたい。
参考図書	森篤嗣・庵功雄（編）『日本語教育文法のための多様なアプローチ』ひつじ書房、2011 日本語文法学会『日本語文法』くろしお出版 日本語/日本語教育研究会『日本語/日本語教育研究』ココ出版
履修上のポイント	自らの問題意識に基づき、実際に用例を採集して分析することにより、現代日本語文法について深く理解することが可能になる。何かわからないことがあった時に実例を調査できる力を身につけておくと、これからの各自の研究にも、また日本語教育現場においても有益である。 リポートについては、ピア・レスポンスの活動を通して、他者の視点をも理解しながら、よりよいリポートを書ける力を養っていく。
レポート課題 1	・テキストの中から関心ある章を1つ選び、その内容に基づき、実例を採集して分析する。（3,000字～4,000字） 留意点： 実例の最終方法についてはテキスト13章、および学期開始後、manaba 上にて行う説明を参照。
レポート課題 2	・テキストの中から関心ある章を1つ選び（ただし、レポート1とは異なる章を選ぶこと）、その内容に基づき、実例を採集して分析する。（3,000字～4,000字） 留意点： 実例の最終方法についてはテキスト13章、および学期開始後、manaba 上にて行う説明を参照。

基本教材 1

第 1 回	教材の学修：基本教材 1 の第 1 章のポートフォリオ作成
第 2 回	教材の学修：基本教材 1 の第 2 章のポートフォリオ作成
第 3 回	レポート課題 1：ピア・レスポンス（第 1 回）
第 4 回	教材の学修：基本教材 1 の第 3 章のポートフォリオ作成
第 5 回	教材の学修：基本教材 1 の第 4 章のポートフォリオ作成
第 6 回	レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成
第 7 回	レポート課題 1：ピア・レスポンス（第 2 回）
第 8 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 9 回	教材の学修：基本教材 1 の第 1 章のポートフォリオ作成
第 10 回	教材の学修：基本教材 1 の第 2 章のポートフォリオ作成
第 11 回	教材の学修：基本教材 1 の第 3 章のポートフォリオ作成
第 12 回	教材の学修：基本教材 1 の第 4 章のポートフォリオ作成
第 13 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 14 回	レポート課題 2：ピア・レスポンス（第 3 回）
第 15 回	レポート課題 2：最終稿の作成

基本教材 2

第 1 回	教材の学修：基本教材 2 の第 1 章・第 2 章
第 2 回	教材の学修：基本教材 2 の第 3 章・第 4 章
第 3 回	レポート課題 1：用例採集練習（第 1 回）：基本教材 2 の第 13 章
第 4 回	教材の学修：基本教材 2 の第 5 章・第 6 章
第 5 回	レポート課題 1：初稿の作成
第 6 回	レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成
第 7 回	レポート課題 1：ピア・レスポンス（第 2 回）
第 8 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 9 回	教材の学修：基本教材 2 の第 7 章・第 8 章
第 10 回	教材の学修：基本教材 2 の第 9 章・第 10 章
第 11 回	教材の学修：基本教材 2 の第 11 章・第 12 章
第 12 回	レポート課題 2：初稿の作成
第 13 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 14 回	レポート課題 2：ピア・レスポンス（第 3 回）
第 15 回	レポート課題 2：最終稿の作成